

大阪大学での交流にて

国際関係学院学生代表

見学日時：2017年11月29日（水）14:00-19:30

見学場所：大阪大学

見学概要

まず初めに、大阪大学の成り立ちなどについて、大阪大学の教員からお話があった。また、入学希望者、技術、研究経費と社会との繋がりといった方面から接合科学研究所について理解を深めた。

次に、私たちは学生や先生の案内の下、研究所及び同研究所の3台のハイテク設備を見学した。各担当者からは各設備の原理や用途について詳しい解説があり、私たちとしても得るものが多かった。

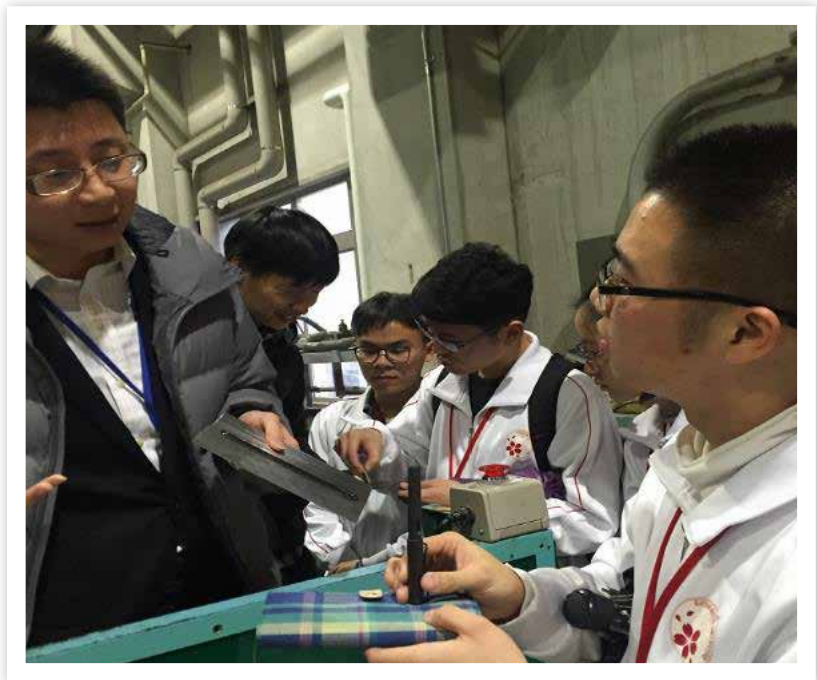
夜には、大阪大学の各キャンパスから中国に興味のある学生が集まり、互いに交流を図った。討論したテーマは幅広く、また、多少踏み込んだものであった。討論はとても熾烈で、各グループは素晴らしい発表を行った。内容としては、日中両国の違いについての比較や中国特有の現状についての分析などがあった。

最後は、立食パーティーとなり、程団長と大阪大学の代表者がプレゼント交換を行った。その場の雰囲気はとても賑やかで、皆とても楽しむことができた。



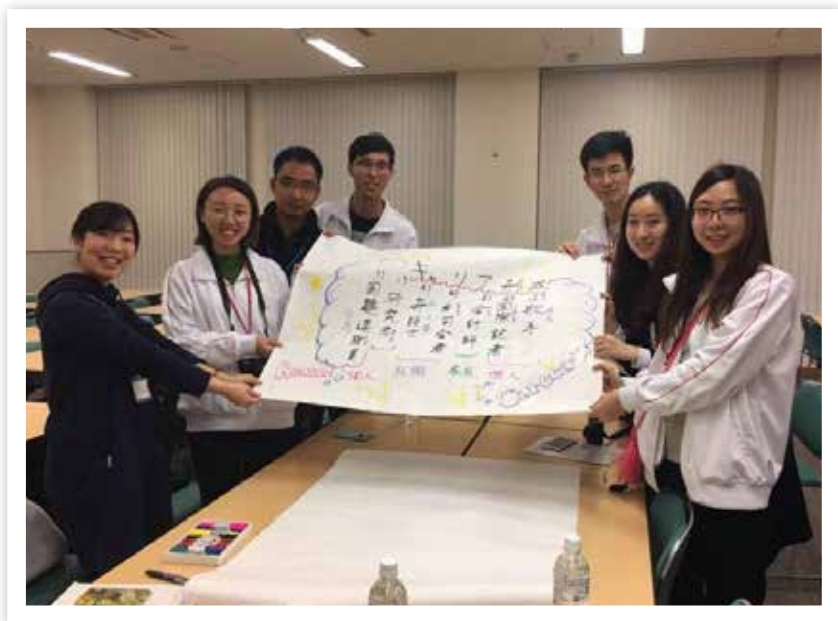
なぜですか？

- 1) 過去または現在を問わず、大阪大学は優れた科学研究能力を有しており、ここから福沢諭吉といった明治維新における指導者やノーベル賞受賞者を含む国際的な賞の受賞者が多数誕生している。
- 2) 接合には従来の溶接という方法だけではなく、先進的な技術も含まれており、大阪大学の接合技術のレベルは世界でもトップクラスで、接合技術研究における大黒柱的存在である。



感想

大阪大学への訪問は、まず、大阪大学について知ることから始まった。私たちは会議室で大阪大学の成り立ちなどについての紹介に耳を傾け、紹介ビデオを鑑賞した。ビデオでは、様々な国からの学生がここに集い、学習そして生活



している様子が紹介され、大阪大学の多様性や開放性が感じられた。その後、接合科学研究所の南所長から、私たちがこの後見学をする同研究所について紹介があり、その紹介を通じて私たちは、接合には従来の溶接という方法だけではなく、先進的な技術も含まれていることを知り、それと同時に大阪大学の接合技術のレベルは世界でもトップクラスで、接合技術研究における大黒柱的存在であることを知った。紹介の後、私たちは実験室の見学を始め、自動X線マイクロアナライザシステム、粒子法による摩擦攪拌接合技術、そして、検査シミュレーション技術

について順に見学した。研究スタッフはとても詳細にその原理を解説してくれた他、私たちからの質問にも丁寧に答えてくれた。接合科学研究所の見学を終えた私たちは、接合構造の耐災害性テストや摩擦攪拌接合の改良等、科学技術の刷新がもたらすイノベーションを体感した他、大阪大学の研究スタッフの研究に対するひたむきな姿勢を知ることができた。

大阪大学の学生との討論では、キャリア形成に影響する要素について討論をした。交流が深まり、同じグループのミャンマー語を学んでいる日本の先輩女子学生の職業認識は、社会に貢献し、異なる国や民族について理解することだと知った。これには私たちは彼女の崇高な信念を感じ、また彼女の思いに心を打たれた。

今回の見学を通じて、私たちは大阪大学の緻密な学風を感じた他、意見を交わすことでお互いに友情の架け橋を構築することができた。